

No.100 2023.5.1

あいべつ 社協だより

■発行■

社会福祉法人 愛別町社会福祉協議会

愛別町字本町345番地の1 愛別町総合センター内

TEL 6-6800・FAX 6-6801



「愛岳百景」きのこの里あいべつパークゴルフ場より望む

社会福祉協議会（社協）とは

地域を構成する住民、諸団体の参加、行政の協力を得て、「福祉のまちづくり」を目指す民間の組織（社会福祉法人）です。

《この社協だよりは、赤い羽根共同募金配分金の一部で作成しております。》

令和四年度社会福祉協議会事業計画

高齢化の進行とともに、少子化による急激な人口減少社会の中、社会福祉協議会の使命は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域において様々な生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合い安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」を推進することです。

この「ともに生きる豊かな地域社会」とは、地域住民一人ひとりが協働し、日々ともに支え合い、生活における楽しみや生きがいを見出し、生活上の様々な困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心して、その人らしい生活を送ることができる地域共生社会の実現に向け、国の方針として定められております。

本協議会は、こうした地域で支え合う取り組みとして、自宅から



病院までの有償による運送事業、ホームヘルプサービスセンターの運営による高齢者の訪問介護及び介護予防・日常生活支援総合事業、そして障害者総合支援法による障害者の居宅介護についても引き続き行なって参ります。

令和2年に発生した新型コロナウイルスは、日本はもとより世界中で感染拡大の一途をたどり、当

町においても、社会・経済の停滞の影響が所得や雇用機会の減少を招き、新型コロナウイルス発生以降、生活困窮に伴う特例貸付事業の緊急小口資金や総合支援資金等の活用がありました。

令和5年に入ると新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向となり、これに伴い、国はこれまでの対策からその対応を大きく変化させようとしております。

しかし、いまだに多くの課題や不安が残されたままの状況であることから、今年度に計画している各事業についても、感染の状況を確認しつつ、感染拡大を助長することのないよう配慮しながら実施して参ります。

なお、町民の皆様からいただいた会費、寄付金、共同募金並びに行政機関からの補助金を財源に皆様の抱えている様々な要望や課題について行政機関と一体となり協力し合って取り組み、解決に向け努力して参ります。

主要な事業の取り組み

- 一、法人運営事業
 - ・理事会、評議員会の開催
 - ・苦情相談窓口の開設
 - ・広報「社協だより」の発行
 - ・共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進
 - ・会員の慶弔実施
 - ・役員の研修会への参加
- 二、地域福祉推進事業
 - ・小地域ネットワーク活動の推進
 - ・心配ごと相談の実施



- ・ 福祉有償運送事業の実施
- ・ 福祉用具の貸し出し
- 三・ 福祉対策事業
 - ・ 地区敬老会開催助成
 - ・ 赤十字奉仕団活動助成
 - ・ 老人クラブ活動助成
 - ・ 手をつなぐ育成会活動助成
 - ・ 身体障害者福祉協会活動支援
- 四・ 低所得者福祉事業
 - ・ 生活福祉資金等貸付の相談
 - ・ 社会福祉更生資金の貸付
 - ・ 歳末たすけあい見舞金の贈呈
 - ・ 災害被災者の見舞い、援護
- 五・ ボランティアセンター活動
 - ・ ボランティア活動推進校の助成
 - ・ ボランティア団体に情報提供、各種研修会への参加促進

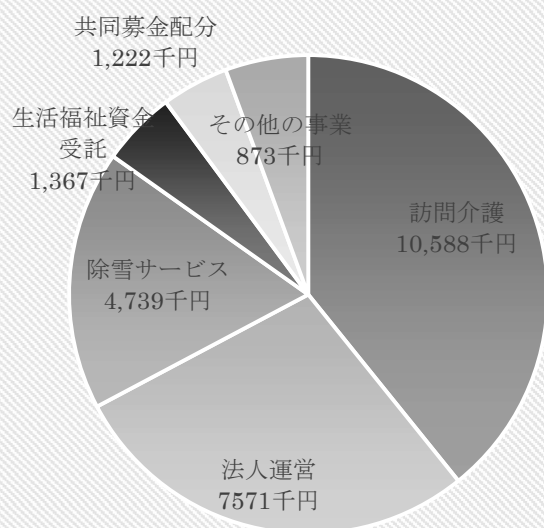


- ・ ボランティア相談の受付
- 六・ 福祉団体事業への協力
 - ・ 愛別町共同募金委員会
 - ・ 愛別町老人クラブ連合会
 - ・ 愛別町身体障害者福祉協会
 - ・ 愛別町赤十字奉仕団
 - ・ 愛別町遺族会
 - ・ 旭川地区保護司会愛別支部
- 七・ 愛別町ホームヘルプサービスセンターの訪問介護事業
 - ・ 介護保険事業による身体介護、生活援助等の訪問介護
 - ・ 障害福祉サービス事業による身体介護、家事援助等の居宅介護

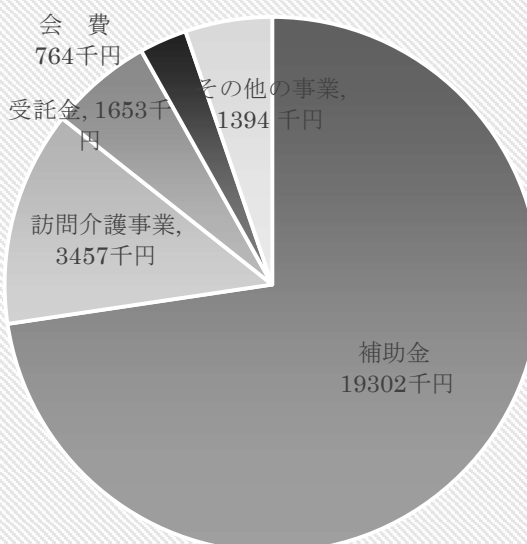
令和5年度 資金収支予算書					
				(単位：千円)	
勘定科目		前年度予算額	5年度予算額	差引増減額	
事業活動による収支	収入	会費収入	719	764	45
		寄附金収入	460	460	0
		経常経費補助金収入	23,861	19,302	△ 4,559
		受託金収入	492	1,653	1,161
		貸付事業収入	380	380	0
		事業収入	400	459	59
		介護保険事業収入	3,115	2,908	△ 207
		障害福祉サービス等事業収入	561	549	△ 12
		受取利息配当金収入	3	3	0
		その他の収入	92	92	0
	事業活動収入計（1）		30,083	26,570	△ 3,513
	支出	人件費支出	19,573	16,443	△ 3,130
		事業費支出	5,076	5,388	312
		事務費支出	2,953	2,927	△ 26
		貸付事業支出	380	380	0
		共同募金配分金事業費支出	1,385	1,222	△ 163
		助成金支出	632	646	14
		事業活動支出計（2）		29,999	27,006
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）		84	△ 436	△ 520
その他の活動による収支	収入	基金積立資産取崩収入	500	300	△ 200
		その他の活動収入計（7）	500	300	△ 200
	支出	基金積立資産支出	1	1	0
		積立資産支出	297	239	△ 58
		その他の活動による支出	812	673	△ 139
		その他の活動支出計（8）	1,110	913	△ 197
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）		△ 610	△ 613	△ 3
予備費支出（10）		61	61	0	
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）		△ 587	△ 1,110	△ 523	
前期末支払資金残高（12）		2,817	4,542	1,725	
当期末支払資金残高（11）＋（12）		2,230	3,432	1,202	

事業の取組のための令和五年度の予算

事業別事業費内訳



収入内訳



社会福祉団体の活動報告

☆愛別町赤十字奉仕団

愛別町赤十字奉仕団では、三月二十二日（水）午後一時三十分より総合センターにおいて役員会を開催いたしました。

役員会では、令和五年度の総会開催に向けての協議、独居老人の状況の確認、団員名簿の確認について協議を行い終了しました。

社協の人事異動

お世話になりました

〈退職〉

事務局長

清野 裕章

主任ホームヘルパー

上野 裕美子

三月三十一日付

よろしくお願いいたします

〈採用〉

事務局長

阪口 貴彦

主事

谷田 佳樹

四月一日付

愛別社会福祉協議会

訪問介護員を募集しています

訪問介護員 一名

勤務時間 午前八時三〇分～午後五時十五分

応募資格 2級ホームヘルパーの資格をお持ちの方でパソコンの使用ができ、普通自動車免許を有する方

詳しくは、社会福祉協議会事務局（電話 66800）へお問い合わせください。

社協の動き

仕事始め 一月六日

福祉郵送運送等運営委員会参加

一月十三日 総合センター

第三四半期監査

一月二十七日 総合センター

第五回理事会

一月十七日 総合センター

第二回評議員会

一月三十日 総合センター